

## 平成24年度第1回小牧市立図書館選書委員会会議録

1 開催日時 平成24年6月22日（金）  
午後3時～午後5時

2 開催場所 小牧市立図書館 1階 集会室

3 出席者 委員長 多田 昭子  
副委員長 大間知 千鶴子  
委員 中川 裕子  
" 森 勝昭  
" 舟橋 尚女  
欠席者 委員 木村 芳博  
事務局 山田館長  
永井補佐  
林主査

4 議題 (1) 選書について  
(2) その他について

5 会議資料 選書資料

6 議事内容

(1) 選書について

選書資料1 『芦田均日記 全5巻』について

【事務局】 可2保留が3ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 保留にした。近現代史は学校では教えてもらえない。よく教えてもらって江戸の末期あるいは日清戦争までぐらいで大学の教養でも教えてもらえない。結局今の日本人でいうと、明治以降の明治・大正・昭和、特に昭和史の戦争に入っていく段階は、全部自分で勉強をしないと誰も教えてくれない。大学でも史学科の人は、勉強するかもしれないが、一般の人はほとんど勉強をしない。そういう意味で言う「芦田さん」のものは退職してから勉強しようとする人には、価値ある1冊とは思いますが、個人のもを集めるのは際限がない。図書館に行けば何でもあるという話ではない。となるとあってもいいし無くてもよい。非常に迷うところ。

【委員】 10代からの日記が、よく残っていたと思うし珍しい。

【委員】 可にした。自分が読むかどうかはわからないが、この辺から今戦前の歴史

に近づいているというから、そういう意味では読むべきかと思うがわからない。見出しをみると、説得力があると思った。絶対欲しいという事ではない。

【委員】 ロシア革命の時にいた、とかそういう所にひかれた。

【委員】 資料としては、こんな日記が残っているという事は貴重だと思うが、どれだけの方が利用されるかは疑問。

【委員】 全5巻でこの値段なので、そんなに値段は高くない。

【委員】 印刷の字ではなくて、自筆の日記というのも魅力。高校時代の字からだんだん変わってきたりするの面白いと思った。そうだから買って欲しいというものでもないが、あっても悪い本ではない。

【事務局】 不可はないので事務局としても迷う。書架がほぼ満杯状態ですので、新館に向けての、事務局預かりとします。

#### 選書資料2 『江戸城下変遷絵図集 全20巻 別巻2』について

【事務局】 可1不可1、保留が3ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 最初に面白いと思ったが値段が高い。不可的な保留にした。

【委員】 あまり興味を持てなかった。

【委員】 可にした。類似はたくさんある。3年位前、藤沢周平の本のほとんどの作品を読んだが「堀川」や「町かど」がでてきた。そういう意味で言うと、読みながら、地図を見ていくと面白い。本はたくさんあるが、娯楽としてとりつきやすいのは時代物で、藤沢周平の本もその中の一つ。私は、一人の作者を2・3年掛けて読みつくすのが自分の主義。これは高いけど、あればみんなが喜ぶのではないか。

【委員】 個人では買えない。類書がたくさんあるし値段も高いと言われればそれまでだが。

【委員】 今まであるのとどこか違いはあるか

【事務局】 今までのより地図が詳しい。今でいう住宅地図に似ている。

【委員】 今までこういうものはなかった。

【事務局】 断片的に切り取ったものはあるが、実在する人物の家があったとかそういう興味は持たれると思う。

【委員】 前に調べたことがあるが、江戸時代末の一万石以上の大名の屋敷で、下屋敷と上屋敷があるが下屋敷が何処に配置されているとか、大名の墓地が何処にあるとか調べたことがある。一つの切り口で絞って調べていくと枝派に分かれて面白かった。1巻ずつとしては、他のものと同じくらいの値段だとおもうが、他のものとのバランスもある。

【事務局】 保留の方で判断の変更の方がなければ事務局判断とします。

#### 選書資料3 『日本伝統織物集成 全1巻』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料4 『図説西洋骨董百科 全1巻』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料5 『国宝蟹満寺釈迦如来坐像』について

【事務局】 不可3保留が2ですので、ご協議をお願いします

【委員】 蟹満寺は有名なお寺ですか。このお寺の「釈迦如来坐像」も聞いたことがない。先入観かもしれないが地域の人たちが、このお寺を知ってもらおうと特殊な意味で発行したのかなと曲解した。

【委員】 大型と書いてあるが、大型の仏像とはどのくらいの仏像のことか。寸法が書いてない。

【委員】 この地域の人たちが、大きく着目してもらおうと起こしたという気がする。

【委員】 不便なところにあるから、誰も行かない。奈良線の駅から降りて20分位の所。好きな人は、行くかもしれない。仏像の顔が独特の顔をしている。飛鳥の「薬師寺の仏象」とか書いてあるが、飛鳥仏の顔とは似ても似つかない。だから不可にした。

【委員】 私の保留も不可に近い保留。

【委員】 知らないものを全部買うとなるときりがない。

【委員】 こういうものは、本より動画の実際の画像の方がいいと思った。

【事務局】 こちらの地方では、ほとんど知られていない。

【委員】 購入しても見る人がいないのでは。

【事務局】 保留の方も不可に近い保留なので購入不可とします。

選書資料6 『日本航空史 全1巻』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料7 『日本歴史災害事典』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料8 『障害百科事典 全5巻』について

【事務局】 可1不可1保留が3ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 保留にした。範囲が広すぎてつまらない感じがした。健康とか医学とか障がいとか、そういうものだったら手に取ってみる人もいるが、「経済と雇用」とかいろいろあるので範囲が広すぎる。医学の目次には面白い物がある。また、障がいでもアスペルガー障害とかは昔はなかった。こういうところでも新しいものを読まなければいけないのかもしれない。興味があるところもあ

ったが、医学とか学校教育とか、どこでの的を絞っているのかわからない。個々に合った方が分かりやすいと思った。

【委員】 保留にした。値段が高いと思ったし、今まで図書館に入っているものが、それぞれ分かれているので、かえって障がいのことをこの百科事典をみればどこかから入っていけると思った。そういう意味ではあってもいいのかと思ったが、迷って保留にした。

【委員】 今、障がいのことが昔とは変わってきている。新しい物は必要だと思う。今皆さんがおっしゃったように、それぞれの専門の方が実際に見る時には見易いのかと思った。専門家の方ではなくて、一般の方が見るとなると個々に分かっていた方がいい。でも新しい物は必要だと思う。前のものは現在は古い。

【委員】 11年に「発達障害事典」が入っている。大体年に一冊位ずつ出ている。

【委員】 ちょっと調べようと思うと、小さい本の方が調べやすい。

【委員】 学会の創立50周年記念とか書いてあると、いいものかなとも思う。

【委員】 発達障害ばかりではなくて、四十肩とか範囲が本当に広い。だから発達障害なら発達障害の本で見た方がわかりやすい。

【委員】 加齢とかも入っている。いろいろ範囲が広い。

【委員】 文化とか芸術とかも載っているので少し面白いとは思った。

【委員】 養子縁組とか里親とか。

【委員】 値段が高い。

【委員】 芸術療法で音楽療法みたいなものと、障がい者芸術で障がい者の人が作ったものと両方あるような気がする。

【委員】 専門性のあるものは、百科事典ではいけないと思う。百科事典だけで総合的ガイダンスに概要を加えたようなものを載せただけではいけない。取り組むとしたら専門性のあるもので分冊にしてあった方がよい。百科事典のセットものでは入って行く筋道がつかみにくい。こういう種類のものを百科事典で扱ってはいけない。購入しないほうに近い保留。研究も進んでいるから古い物は廃棄し、新しい物は、入れなければいけない。時代の推移的も必要としているから、選書に関係なく図書館の姿勢として市民のニーズに合うように最新のものを入れる必要がある。

【事務局】 外国の訳なので、日本人の考え方とぴったりくるかどうかはわからない。ただ最先端の研究は外国で成果が出ているし必要でもある。障がいの本は、たくさん出ている。関心が非常に高い。

【事務局】 図書館には、事典以外にも障がいに関係するものはいくつもあるもので、急にこれがないからいけないというものでもない。消極的な保留が多いので不可とします。

選書資料 9 『物性物地学ハンドブック』について

【事務局】 可1不可が2、保留2ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 内容が理解できなくて、直感で不可にした。専門的な感じがした。何もわからないから、専門的なものと思ったのかもしれない。この不可は自信がない。図書館には物理学の本を求めてくる人はいるのか。

【事務局】 図書館には必要なものもある。文学とか小説ばかりでは決してない。社会人でも学生でもそれぞれの趣向がある。

【委員】 私の不可は考えて不可にしたわけではない。分からなくて不可にした。皆さんや図書館の人の意見を聞いて従がうというような形になると思う。

【委員】 バランスという事を考えて、あらゆるものを集めるということはわかるが、前にも話したが大学の理学部の附属図書館には必要かもしれないが、一般市民が参考にするために、この本が市民図書館になくってはならない性格のものではないと思う。だから私は不可にした。そういう人が来た場合は、大学図書館へ行く。あるいは、関係図書館に行ってもらえばもっと別の方法で調べられるのでいいと思う。あらゆるものを置くべきとはいっても、これは置く必要はない。借りて自宅で勉強する本でもないと思う。

【委員】 読者対象が物理学を学ぶ学生、大学院生、研究社、技術者となっている。

【事務局】 市立図書館では物理学としては、ある程度あってもいいが、一步踏み込んだ特定の分野。委員のおっしゃる様に専門的なことを研究している人向きと思われますので不可にします。

選書資料 10 『鍼灸医学大辞典』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料 11 『福澤諭吉事典』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。